

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(2020年1月～3月)

コロナウイルスの影響により、全業種に渡り業況DIが落ち込み過去5年で最も悪い状況である。特に売上減少とそれに伴う採算の悪化を訴える事業者が急速に増加している。

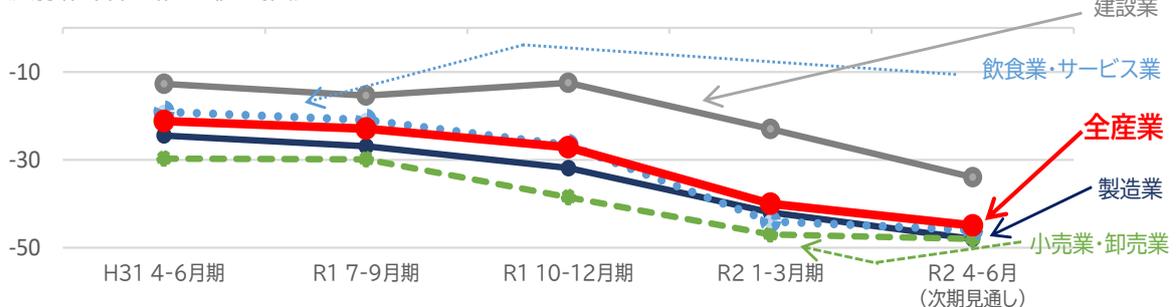
ポイント

- ▶ 2020年1月～3月期の総合業況DIは▲40と、前期▲27から13ポイントの悪化。製造業(前期▲32・今期▲42)、小売業・卸売業(前期▲39・今期▲47)、飲食業・サービス業(前期▲27・今期▲44)は前期から更に大幅に下落し、非常に厳しい状況である。前回回復の兆しが見られた建設業(前期▲13・今期▲23)も、再び落ち込んでる。
- ▶ コメントによると、コロナウイルスの影響が全業種にわたっている。小売業やサービス業では客足の急減や営業ができなくなることによる直接的な影響に苦しんでいることに加え、製造業では中国向けの販売減少、建設業では輸入材料の遅延や工期遅延による資金回収の悪化などの影響が出ている。前期からの景況悪化の中でコロナウイルスに見舞われ、景況は最悪という声も多い。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲45と、今期▲40から5ポイントの悪化。製造業(今期▲42・次期▲48)、建設業(今期▲23・次期▲34)、小売業・卸売業(今期▲47、次期▲48)、飲食業・サービス業(今期▲44・次期▲46)、は、いずれも更に景況が悪化する予想である。コロナの影響がいつまで続くかわからない中で、非常に厳しい状況が全業種にわたって続く予想されている。

各業界から寄せられたコメント

- ・【電子部品用測定治具】弊社の売上げの50%が台湾と中国のため、新型コロナウイルスの影響が大きい。
- ・【電気工事】新型コロナウイルスの影響で中国の工場の遅れから商品や材料等が入荷できず、工程が遅れていて、売上の回収ができない。
- ・【宝石、アクセサリー、輸入卸】2020年1月後半より新型コロナウイルスの影響で商品見本展示会が各所にて中止され、販売経路が断たれ、売上高が見込めず、路頭に迷っている状態。
- ・【損害保険代理業、スポーツジム経営】新型コロナウイルスによる施設の閉鎖に伴う売上の減少のダメージは大きい。落ち着いたとしても客足が戻るのか心配である。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前々期概況 (R1.7-9)	前期概況 (R1.10-12)	今期概況 (R2.1-3)	次期見通し (R2.4-6)
製 造 業	▲27	▲32	▲42	▲48
建 設 業	▲15	▲13	▲23	▲34
小 卸 業	▲30	▲39	▲47	▲48
飲 食 業	▲21	▲27	▲44	▲46
全 業 種 (総合)	▲23	▲27	▲40	▲45

業況天気図凡例				
DI値 9以上	DI値 90~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以下

調査期間:2020年1月1日~3月31日

回答率:26.1%

回答者数:1,000社

調査対象:当所会員事業所3,831社

<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。